

経営学研究科 三つの方針

■ 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

建学の精神に則り、教育課程の中から指定された単位を修得し、かつ経営学の知識とともに、経営学に関する十分な研究能力を修得し、必要な研究指導を受けたうえで学位論文審査に合格し、かつ培った研究能力をもとに専門的な職業を担うことが期待できる優秀な人材に対し、学位（修士あるいは博士）を与え、学位記を授与する。

■ 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

近年、企業の国際競争が激化の一途をたどり、また産業構造の変革も著しい。加えて、医療、介護、福祉などへの需要も増大傾向にある。このような時代背景のなかで、本学研究科は、これら社会的ニーズを充足させるため、学術上の経営戦略研究を基盤におき、「経営戦略研究」、「エンジニアリング・マネジメント研究」、「医薬マネジメント研究」の3領域を柱としてカリキュラムを編成する。

本学研究科は、「研究」と「実践」の交差を促し、新たな知識、能力が生まれる場としてとらえ、21世紀の経営構想力を育む開放的な知的空間を提供する。さらには、地域社会との相互交流やグローバルな交流を行うなかで、教育と研究の一層の充実を図り、さまざまな経営変革を実現できる人材を養成するよう努める。

■ 入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

本学研究科では、経営学研究の基本をなす経営学、会計学、商学に加え、経営戦略構築の基礎となる競争情報の収集と分析を内容とするインテリジェンス・マネジメント研究を配置している。その上で、経営戦略研究、エンジニアリング・マネジメント研究（技術経営研究）、および医薬マネジメント研究のいずれかの研究が行えるよう、科目を配置し、教員組織を編成している。

したがって、入学後、自らが研究していく分野や、専門的な職業人として活躍できる分野について、本学研究科入学後の活動を通じて弾力的かつ的確に捉えることに必要性を強く感じている者を受け入れる。

また、社会人として、経営戦略や、エンジニアリング・マネジメント、医薬マネジメントの分野で、自らが経験してきた業界でのビジネス慣行あるいは業態の違いを基に、経営学の研究能力を磨いたうえで、新たなビジネスを構築し実践することを目指す者を受け入れる。

さらに、留学生として、自国と日本の産業及び競争構造の違いを正確に捉えることで、自らが活躍する場を求めようと考えている者や、自国の技術経営の発展に寄与する人材、医薬品関連産業の発展に貢献したい国際的視野を持つ人材を受け入れる。

以上の入学者受入方針に基づいて書類審査、筆記試験、面接試験によって選考を行う。